

従業員がいきいきと働き続けられる職場へ はちきかい 八起会取材しました！

久田 和美

今回、お話を伺った佐竹さんは金融機関で人事を担当された経験を生かし、八起会では総務・人事担当として、従業員も利用者も安心して過ごせる環境づくりに取り組んでおられます。

○現場とともに

「現場を知らないところからでは、何も進めていくことは出来ない」

赴任当時 200 名ほどおられた職員、一人ひとりと面談をしてメンタル面や働き方、それぞれの思いを聞くことから職場改善を始めたそうです。職員が満足して働けることが、利用者さんにとっても一番良いことだと思います。

○「働きがい」・「働きやすさ」を考えた取組

- ・出産、育児また介護で一旦仕事を離れても、『職場復帰支援プログラム』などの取組により、休業する前の役職で職場復帰できる。
- ・育児休業中に、子連れで参加できる茶話会など、育児相談や復帰に向けての相談も気軽にできる。
- ・オンラインで家にいながら学ぶことができる（費用は法人負担）。
- ・正社員は夜勤ができないといけない。ただし、子育てなどの時期に一旦準社員やパートになって夜勤を免除し、また正社員に戻ることもできる。
- ・人を育てていくための制度や研修、また、法人内のコミュニケーションを図る目的としてたくさん研修制度がある。

○男女がともに働くために

男性、女性では、当たり前ですが身体づくりが違います。だからこそ、お互いに尊敬し合えることが大切です。でも、働く上では、管理者も職員も男性も女性も同じです。何かを改善、発見する人、待つ人間ではなく、すべてにチャレンジしていく人でないといけないと話されました。

○取材を終えて

私自身、福祉施設で働き産前、産後、育休と合わせて2年ほど取らせてもらいましたが、育児休業中は、仕事をしていた時なら当たり前にあった社会との繋がりがなくなったような、取り残されたような気持ちになることもあります。

しかし、八起会では、その社会との垣根を埋められるような取組を推進されています。今回、現場で働いている職員の方と直接お話する機会はありませんでしたが、パンフレットに載っている多くのスタッフの方の声やホームページを見させて頂くととても素敵な笑顔が写っていました。現場で働いているスタッフがいきいきとやりがいを感じながら働けることが利用者さんにも伝わり、八起会全体の雰囲気繋がると感じました。



社会福祉法人 八起会

(所在地) 湖南省丸山四丁目5番1号

従業員数 330名

(男性: 101名/女性: 229名)

業 種 医療・福祉

NEXT ⇒

次のページから特集「いきいきフォーラム」

あの人が輝いている理由…わかります！



自分らしくもっと輝くためのヒント

ひとひと
女と男グッドパートナー
いきいきフォーラム

日時 平成29年(2017年)1月22日(日)午前10時～

場所 サンライフ甲西

今回は、フォーラムということで、コーディネーターに(株)ICB代表の瀧井智美さんをお招きし、身近で活躍されている女性パネリスト7名の話をお聴きしました。

パネルディスカッションは、パネリストの自己紹介の後に、その話の内容を深めるような形の質疑応答が進められ、最後は「自分らしく輝くために必要なこと」のメッセージが各パネリストから送られました。

パネリストのおはなし



人として成長。

環境に感謝!



奥村 志保美さん

湖南省で女性活躍推進に取り組む企業、(株)シンコーメタリコン勤務。育休から復帰し、総務経理室で日々従業員をサポート。夫と4歳の子ども3人家族。

- 会社が女性の力を必要としてくれていると感じている。
- 仕事にやりがいと誇りを持っている。働き続け、人として成長していけている今の環境に感謝。
- 自分が働きたい会社が、女性の働き方についてどう考えているのか知っておくことが、ずっと働き続けるためには必要。
- 復帰してがんばっている先輩がいたから、私も復帰することができた。



武村 幸奈さん

(株)はたけのみかた代表。湖南省に生まれ育ち、有機野菜を使った離乳食の開発・製造・販売を通し、日本の農業と子育てを支える。

- 私の根底にあるのは日本の農業のため、子育てのために何かできることはないかという想い。この想いがあれば、会社がなくなっても次に動いていける。
- 会社を作ると申告したら、すごく大学に怒られて辛い思いをした。
- 選択肢を与えられるのではなく、自分で選択肢をつくり、それをみんなで支えられるような日本になればもっと楽しい!
- 離乳食の会社なのに男性社員ばかり、と言われるが、男女関係なく適材適所でうまくいけている。

想いを大切に…

選択肢は自分で



田中 綾香さん

甲賀警察署警務課勤務。10月に育児休暇から復帰。育児短時間勤務制度を利用して、子育てと仕事の両立実践中。

- 1人目の出産のときに大先輩の男性警察官に「辞めるなよ、踏ん張れよ」と言ってもらえたのがありがたかった。
- 警察も働きやすい職場になってきた。育児短時間勤務の制度では、いくつかの勤務形態が選べる。
- カバーしてもらっていることに感謝。次は後輩につなげて、ためらうことなく出産・復帰できる職場に！
- 育児・家事と仕事は究極の天秤。職場、家族の助けに感謝しながら生活していく。

忘れられないことば。

次へつないでいくために。

想いを共有して

ステップアップ！



永坂 茂美さん

湖南市役所健康福祉部理事。市役所で初めての女性部長。制度でなく多くの方のサポートを受けながら子育ての壁を乗り越えてきた。

- 実家の母や、お舅さんの協力を得て子育てと仕事を両立してきた。
- 私の知らないところで、子どもがご近所さんにお世話になっていることも…。
- 管理職になることに不安を感じても、大丈夫。培ってきた技術や知識が強みに。迷ったときは、自分だけで決めつけないで、職場の仲間と想いを共有しながらステップアップを！
- 環境は少しずつ変化していく。これまでの知識や技術を生かし、変化に対応できる力を持ち続けたい。

橋本 枝奈さん

水口消防署勤務。甲賀町に生まれ育ち、国家資格である救急救命士取得のため大阪の専門学校へ。現在救急救命士、消防士として地元で活躍中。

- 甲賀消防で現場に出ている女性消防士は4名だけ。
- 「女性がいてくれてよかった」と女性患者に安心してもらえると、この仕事を選んでよかったと思える。
- 資格取得も、採用試験も落ちたらどうしようと不安だったし、今でも不安は色々ある。でも不安は友だちと分かち合い、いま自分にできることを精一杯がんばっていかたいと思う。
- 体力的にはしんどいこともあるけれど、定年まで続けたい、やりがいのある仕事。

不安はあっても

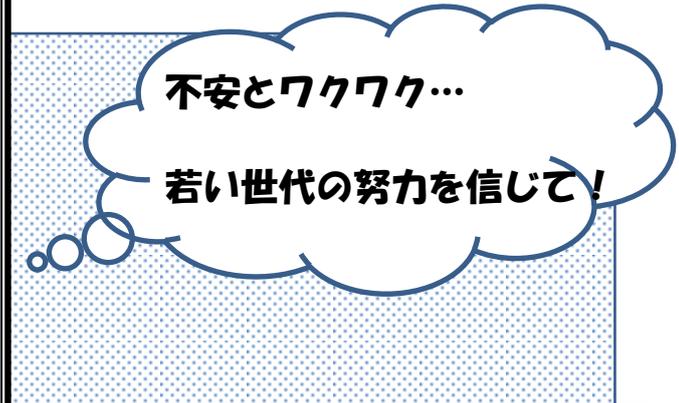
ポジティブ思考で



石田 夏月さん

石部高校2年生。湖南省役所JK課のメンバーでもあり、好奇心が強く、「なんでもやってみよう」と校外でも活発に活動。

- ちょうど進路で悩んでいる時期。なりたい職業に就けるのか、なりたいものになれなくて最低賃金で働くことになったらやりがいを感じられるのか、ジリジリと不安はある。でも就職に対する希望やワクワクもある。
- 失敗したときに、「ゆとり世代はやっぱり緩い」と言われたことがあって悔しかった。
- もっと若い世代の伸び代というか、努力を信じてほしい。



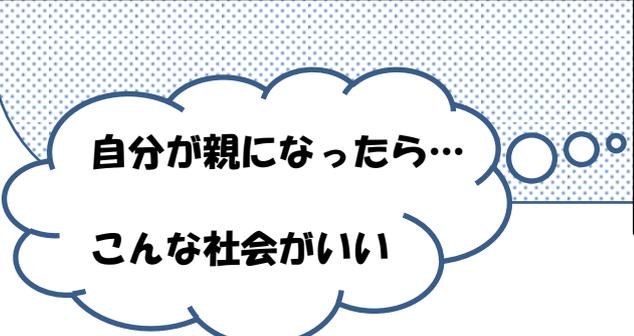
不安とワクワク...

若い世代の努力を信じて!

山室 朱音さん

石部高校1年生。看護師をめざし、健康福祉コースで勉強中。生徒会の副会長としても活躍。

- 理数系が苦手で自信がない。本当になれるのか、このままめざしてよいのか不安。ほかになりたいものもわからないし、自分に何ができる？
- 子どもの時は学童保育所で「早くおうちに帰りたい」と思いながら待っていた。自分が親になった時を考えると、仕事も家事も続けるために、早く帰れるといいなと思う。



自分が親になったら...

こんな社会がいい



フォーラムから見えてきた！ 本当の働きやすさ実現のためのヒント

職場にできること

- 会社が女性の力を必要と感じている、という期待をきちんと伝える。
- 育児休業などの制度が当たり前に見えるという風土を社内で作る。
- 色々なパターンの制度を用意する。

働く人ができること

- 制度を使うだけでなく、周囲への感謝を伝える。
- 自分を支えてくれている人やサービスが身近にあるか整理する。
- 色々なやり方があるということを知る。色々な人の話を聴く。
- 不安があってもいい。溜め込まないで、不安とうまく付き合う。



コーディネーター
瀧井 智美さん
((株)ICB代表)

営業事務、パソコンインストラクター、キャリアカウンセラー、独立系コンサルタントを経て、「株式会社ICB」を設立。ワークライフバランス推進支援コンサルタントとしても活躍中。



～参加者アンケートから～

生き方、働き方、さまざまに選択できます。輝ける人生にエールを送ります(送りたいです)。

若い男性の話も聞きたいですね。

悩みはつきないけれど、自分の気持ちを変えることも必要だったり、気づきを得られて良かったと思います。

パネラーの皆さんがしっかりと自分の考え、意見を発表されていて良かったです。

とても勇気ももらえました。

もう少し本音というか、しんどさも聞けたら...



イラスト：効ノ 彩可



男女共同参画リポーターに参加して

湖南省商工会 豊田 孝雄

私は、男女共同参画リポーターに初めて参加して、最初は戸惑うこともありましたが、会議のなかでリポーターの方々のお話を聞いていくうちに、少しずつ理解を深めることができました。

私の子どもの頃は、「男だから」「女だから」と枠にはめられ、疑問に感じながらもそれが当たり前の世界の中でした。

それが今では、男だから、女だから、という理由だけで、やりたいことができないのはその人の個性や能力の発揮を妨げることに繋がる時代となりました。

男女共同参画とは、一人ひとりの違いを認め合い、それぞれが自分の意思で社会に参画し、お互いに支え合って生き生きと暮らせる社会に変えることだと感じています。

私にとって身近な男女共同参画として、家事と親の介護が浮かびました。家事については、洗濯物の取り入れ、ちょっとした食事の準備などは手伝っていますが、夫婦で両方の親を介護することになれば……。もうすぐそこまで来ていると実感しています。

妻とはお互い仕事をしているので、共に健康で仕事も家事も介護もこなしていけるように、互いに支え合って生きていけるよう協力していきたいと思います。

今回、男女共同参画社会について考える機会を得ることができ感謝しています。

あたらしい男女共同参画計画が

はじめます

1. 社会環境・制度の整備

- ★男女共同参画の条例づくりに向けた準備
- ★情報紙やホームページなどを通じた啓発
- ★相談体制の充実

2. 教育・生涯学習の場で

- ★男女共同参画に関する出前講座
- ★男女共同参画を実践している人の紹介
- ★小中学校での男女共同参画副読本の活用

性別にかかわらず、
すべての人が個性と能力を発揮し、
多様な生き方を楽しむことができる
まちをめざして



3. 地域や家庭で

- ★区・自治会、各種団体への啓発や研修等の働きかけ
- ★女性の視点での避難所設備の見直し
- ★DV被害者の支援や子どもの虐待防止

4. 働く場で

- ★女性の就職や再就職に関する相談や情報提供
- ★企業や事業所への啓発などの働きかけ
- ★市役所での女性活躍などの推進



＊ あなたも男女共同参画リポーターになってみませんか？ ＊

男女共同参画リポーターの任期は2年。市内に在住か在勤されている20歳以上の人なら、どなたでも参加できます。これからのライフスタイルについて一緒に考え、発信していきましょう。

募集締切は5月12日（金）です。ご応募お待ちしております！

男女共同参画リポーターについては、労働者の観点からの意見・提案も取り入れ、より実態に応じた取組を行うため、平成25年度から工業会・商工会にもご協力いただいています。

今年度も市から両会に会員の派遣を依頼し、3名の方を派遣いただきました。ご協力ありがとうございました。今後も働き方について、一緒に考えていきたいと思ひます。

■編集

湖南省男女共同参画リポーター

青木信二、西村眞喜子、
久田和美、森富裕子

湖南省工業会・石部政貴、野口周作

湖南省商工会・豊田孝雄

■連絡先

〒520-3195 湖南省石部中央1-1-1

湖南省人権擁護課

TEL (77) 8512

FAX (77) 4101

Eメール jinken@city.shiga-konan.lg.jp

開催日	内容
7月5日	第1回会議
8月25日	第2回会議
9月29日	第3回会議
10月24日	事業所への取材
11月12日～13日	G-NETしがフェスタ参加
11月21日	第4回会議
12月13日	第5回会議
1月22日	いきいきフォーラム
2月21日	第6回会議
3月	いきいき通信配布

平成28年度年間活動内容

